



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2020年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 T P R株式会社

コード番号 6463 URL http://www.tpr.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 岸 雅伸

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小島 亮治 TEL 03-5293-2811

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	132,702	△7.6	10,252	△26.1	11,699	△27.9	7,314	△19.5
2019年3月期第3四半期	143,598	4.9	13,869	△7.6	16,219	△7.1	9,089	△0.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 9,006百万円 (44.7%) 2019年3月期第3四半期 6,223百万円 (△60.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	206.09	ー
2019年3月期第3四半期	256.17	256.17

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	233,235	139,921	47.9	3,148.41
2019年3月期	232,275	135,472	45.9	3,001.90

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 111,757百万円 2019年3月期 106,519百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	ー	27.00	ー	27.00	54.00
2020年3月期	ー	30.00	ー	ー	ー
2020年3月期(予想)	ー	ー	ー	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注) 2020年3月期配当金(予想)の内訳 普通配当 56円00銭 記念配当 4円00銭(創立80周年記念配当)

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	179,600	△6.8	13,200	△27.9	16,200	△25.6	7,100	△38.3	200.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名）一、除外 一社 （社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	36,100,099株	2019年3月期	36,100,099株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	603,697株	2019年3月期	615,901株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	35,491,036株	2019年3月期3Q	35,481,959株

（注）期末自己株式数については、株式給付信託（BBT）が保有する当社株式（2020年3月期3Q 84,000株、2019年3月期 96,300株）を含めております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式については、株式給付信託（BBT）が保有する当社株式（2020年3月期3Q 89,144株、2019年3月期3Q 97,978株）を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間を取り巻く経営環境は、国内は消費増税が実施されたものの内需の底固さから、緩やかな回復傾向を持続いたしました。一方、海外は貿易摩擦をはじめとする米中対立の深刻化や英国のEU離脱の影響による世界経済の減速懸念など、国際経済の不確実性は更に増しており、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが主として関連する自動車業界におきましては、国内は登録車、軽自動車ともに下支えをし、堅調に推移致しました。一方、海外は引き続き中国、新興国市場の前年割れ、北米は小型トラックで下支えしたものの乗用車で大幅減少となり、世界市場全体として大変厳しい環境が継続しております。

こうした経営環境のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は、中国、北米の二大市場の減速等により7.6%減少いたしました。利益面は、継続的な原価低減活動の推進や経費圧縮などを実行いたしました。売上高の減少に伴う操業度減や新技術の量産立上げコストなどにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益とも減少いたしました。

当第3四半期連結累計期間の業績数値につきましては、次のとおりであります。

売上高	1,327億2百万円	(前年同期比 7.6%減)
営業利益	102億52百万円	(前年同期比 26.1%減)
経常利益	116億99百万円	(前年同期比 27.9%減)
親会社株主に帰属する四半期純利益	73億14百万円	(前年同期比 19.5%減)

セグメントの業績概況は、次のとおりであります。

< T P R グループ (除くファルテックグループ) >

①日本

日本は、売上高は363億97百万円で、前年同期に比べて10億97百万円の減収となりました。セグメント利益は32億32百万円で、新技術の量産立上げコスト、新商品の開発費用などにより、前年同期に比べて7億83百万円の減益となりました。

②アジア

アジア地域は、売上高は216億54百万円で、中国市場の減速や販売単価の下落などにより、前年同期に比べて33億77百万円の減収となりました。セグメント利益は45億14百万円で、売上高の減少に伴う操業度減などにより、前年同期に比べて22億17百万円の減益となりました。

③北米

北米地域は、売上高は99億14百万円で、北米市場の減速などにより、前年同期に比べて19億16百万円の減収となりました。セグメント利益は8億2百万円で、売上高の減少に伴う操業度減などにより、前年同期に比べて4億35百万円の減益となりました。

④その他地域

その他地域は、売上高は18億98百万円で、前年同期に比べて5億45百万円の減収となりました。セグメント利益は5億30百万円で、前年同期に比べて1億86百万円の減益となりました。

< ファルテックグループ >

売上高は628億37百万円で、グローバルでお客様生産台数減の影響を受けたことにより、前年同期に比べて39億57百万円の減収となりました。セグメント利益は11億73百万円で、現場改善活動が進んだことなどにより、前年同期に比べて1億29百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して9億60百万円増加し、2,332億35百万円となりました。これは主に有形固定資産が49億8百万円、投資有価証券が37億1百万円それぞれ増加した一方、受取手形及び売掛金が53億33百万円、現金及び預金が21億94百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末と比較して34億88百万円減少し、933億14百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が32億36百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比較して44億48百万円増加し、1,399億21百万円となりました。これは主に利益剰余金が50億21百万円、その他有価証券評価差額金が32億40百万円それぞれ増加した一方、為替換算調整勘定が30億56百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、2019年5月15日に公表しました連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(2020年2月12日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,248	37,054
受取手形及び売掛金	46,279	40,946
商品及び製品	11,702	11,685
仕掛品	4,254	4,109
原材料及び貯蔵品	7,126	7,290
その他	6,302	5,803
貸倒引当金	△313	△80
流動資産合計	114,600	106,808
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,613	22,980
機械装置及び運搬具(純額)	29,429	28,280
その他(純額)	18,055	22,745
有形固定資産合計	69,099	74,007
無形固定資産		
のれん	667	533
その他	1,934	2,001
無形固定資産合計	2,601	2,535
投資その他の資産		
投資有価証券	24,563	28,264
退職給付に係る資産	4,892	5,234
その他	16,536	16,539
貸倒引当金	△18	△154
投資その他の資産合計	45,974	49,884
固定資産合計	117,675	126,427
資産合計	232,275	233,235

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,663	15,426
電子記録債務	10,355	9,464
短期借入金	25,230	24,161
未払法人税等	1,371	1,374
賞与引当金	2,286	1,057
その他	11,275	11,446
流動負債合計	69,184	62,931
固定負債		
長期借入金	14,116	13,973
退職給付に係る負債	6,338	5,662
引当金	1,112	1,001
資産除去債務	101	196
その他	5,949	9,548
固定負債合計	27,618	30,382
負債合計	96,802	93,314
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,758	4,758
資本剰余金	4,209	4,209
利益剰余金	88,412	93,433
自己株式	△1,118	△1,075
株主資本合計	96,261	101,326
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,083	13,324
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	12	△3,044
退職給付に係る調整累計額	162	150
その他の包括利益累計額合計	10,258	10,431
新株予約権	161	147
非支配株主持分	28,791	28,016
純資産合計	135,472	139,921
負債純資産合計	232,275	233,235

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	143,598	132,702
売上原価	109,010	102,776
売上総利益	34,588	29,926
販売費及び一般管理費	20,719	19,673
営業利益	13,869	10,252
営業外収益		
受取利息	239	286
受取配当金	435	359
持分法による投資利益	1,631	1,142
その他	514	640
営業外収益合計	2,820	2,428
営業外費用		
支払利息	190	258
為替差損	133	182
その他	145	540
営業外費用合計	470	981
経常利益	16,219	11,699
特別利益		
固定資産売却益	10	1,766
新株予約権戻入益	—	13
課徴金返還額	—	58
補助金収入	17	—
特別利益合計	28	1,838
特別損失		
固定資産除売却損	137	102
投資有価証券評価損	238	18
特別損失合計	376	120
税金等調整前四半期純利益	15,871	13,416
法人税等	3,386	3,251
四半期純利益	12,485	10,165
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,395	2,850
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,089	7,314

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	12,485	10,165
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,084	3,241
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△2,375	△3,389
退職給付に係る調整額	△103	47
持分法適用会社に対する持分相当額	△698	△1,058
その他の包括利益合計	△6,261	△1,158
四半期包括利益	6,223	9,006
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,687	7,486
非支配株主に係る四半期包括利益	2,535	1,519

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間より、株式会社北九州ファルテックは、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、一部の連結子会社において、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準を適用している在外子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(会計上の見積りの変更)

(退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数の変更)

一部の連結子会社において、退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数について、従来、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数として12年で費用処理しておりましたが、平均残存勤務期間がこれを下回ったため、第1四半期連結会計期間より費用処理年数を10年に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(当社連結子会社における男女の定年退職年齢均等化の有効時期に関する意見取得に向けた手続着手について)

当社子会社である株式会社ファルテックの子会社で、当社の連結子会社であるファルテックヨーロッパ社(以下「FEL」という。)において、FELの年金スキームを管理する者(以下「トラスティー」という。)からFELに対して年金スキームの男女の定年退職年齢均等化が有効となった時期について意見が述べられております。

これに対して、現在、FEL及びトラスティーは法的な懸念を払拭するため法廷弁護士へ意見を求める手続を進めております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	T P R グループ (除くファルテックグループ)					ファルテック グループ	
	日本	アジア	北米	その他地域 (注)	計		
売上高							
外部顧客への売上高	37,495	25,032	11,831	2,444	76,803	66,794	143,598
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,772	2,728	111	51	10,664	0	10,664
計	45,267	27,761	11,943	2,496	87,468	66,795	154,263
セグメント利益	4,015	6,732	1,238	716	12,702	1,044	13,746

(注) 「その他地域」の区分は、欧州及び南米の現地法人の事業活動であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	13,746
セグメント間取引消去	126
未実現利益の調整額	△3
四半期連結損益計算書の営業利益	13,869

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	T P R グループ (除くファルテックグループ)					ファルテック グループ	
	日本	アジア	北米	その他地域 (注)	計		
売上高							
外部顧客への売上高	36,397	21,654	9,914	1,898	69,865	62,837	132,702
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,378	2,647	100	44	10,170	0	10,170
計	43,775	24,302	10,015	1,942	80,035	62,837	142,873
セグメント利益	3,232	4,514	802	530	9,079	1,173	10,252

(注) 「その他地域」の区分は、欧州及び南米の現地法人の事業活動であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	10,252
セグメント間取引消去	104
未実現利益の調整額	△104
四半期連結損益計算書の営業利益	10,252

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。